

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【公開番号】特開2019-98307(P2019-98307A)

【公開日】令和1年6月24日(2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-024

【出願番号】特願2017-235912(P2017-235912)

【国際特許分類】

C 02 F	1/20	(2006.01)
C 07 C	275/00	(2006.01)
C 07 C	273/04	(2006.01)
C 01 C	1/02	(2006.01)
C 01 C	1/08	(2006.01)
C 02 F	1/58	(2006.01)

【F I】

C 02 F	1/20	B
C 07 C	275/00	
C 07 C	273/04	
C 01 C	1/02	E
C 01 C	1/08	
C 02 F	1/58	A

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月20日(2020.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0056

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0056】

尿素ダスト洗浄設備(DSCR)で尿素水溶液と接触した空気はアンモニア洗浄設備(ASC)へ導入し、アンモニア洗浄設備(ASC)で循環されている硫酸アンモニウム水溶液と接触させる。この際、空気に同伴した尿素は水溶液中に溶け、さらに空気中のアンモニアと硫酸が反応して硫酸アンモニウムとなり、水溶液中に溶け込む。この際、アンモニア洗浄設備(ASC)から生じる排ガスに含まれる尿素は17kg(30mg/Nm³)、アンモニアは18kg(30mg/Nm³)まで低減される。硫酸アンモニウム水溶液はアンモニア洗浄設備(ASC)で補給水により水分が60質量%となり、59.25kg/hrの水溶液をアンモニア洗浄設備(ASC)から抜き出す。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

本発明の処理方法及び処理設備は、尿素の加水分解効率を低下させることなく、尿素加水分解器の負荷を下げるにより加熱スチーム量節減や機器のコンパクト化が可能であり、さらに水溶液(例えば尿素合成液の濃縮工程から生じる排水)の一部を排気処理設備に導入した場合であっても大気中へのアンモニアの排出が抑制されるので、例えば、尿素合成液の濃縮工程の排水の処理など、尿素合成分野の各種工程において非常に有用である

◦